

特集 次代を担う新ビジネスの創出に向けて ～新たなアイデアやチャレンジを応援します！～



山形県の持続的な発展のカギとなるのが、今後の本県産業を牽引する新たなビジネスの創出や、地域経済に活力をもたらす創業です。県では、新規事業の創出や創業を促す取組みを進めています。

令和3年度 やまがたビジネスプランコンテスト 審査会風景

スタートアップステーション

ジョージ山形

防音ばっちり！オンライン会議が可能な個室は3つ

商業登記の所在地として登録可能！

Information

【時間】月～金：午前9時～午後8時
土、日：午前9時～午後6時
【休館】祝・祭日、年末年始
☎ 023-666-6100

料金等の詳細は▼

自由度の高いフリーアドレスエリア、広い作業スペースが魅力のノマドデスクなど、個人席は最大50席

集まれ！創業希望者

県では、昨年11月、山形県企業振興公社と連携し、創業支援窓口とワーキングスペース※4の機能を併せ持つスタートアップステーション・ジョージ山形を、霞城セントラル2階に開設しました。県が支援する形でのワーキングスペース設置は東北初です。山形駅直結の利便性を生かし、集う人が新たなビジネスを創り、新たなビジネスが新たな人を呼び込む好循環を生み出す場です。

機能① 創業相談

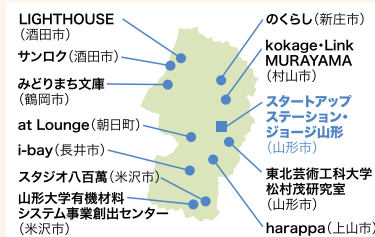
創業に関心がある方、創業を考えている方の総合窓口として、構想段階から無料で相談に応じます。アイデアを事業化させるための助言、創業に向けた資金調達、創業後の販売促進策など、段階に応じた助言と支援機関への橋渡しを行います。

機能② 人材交流の場

女性や学生を対象としたセミナー等で創業の裾野を広げ、産学官と連携した企画を通して、さまざまな人達の交流を生み出します。県内外の起業家やビジネスマン、行政など多様な分野の人が交わり合うことで、新しいアイデアやビジネスが生まれます。

機能③ いつでもつながる

県内11のワーキングスペースと常時接続されており、地域や施設を越えて、利用者同士が気軽に交流できます。山形の創業コミュニティを形成し、拡大を図っていくことで新たなビジネス創出を促進していきます。

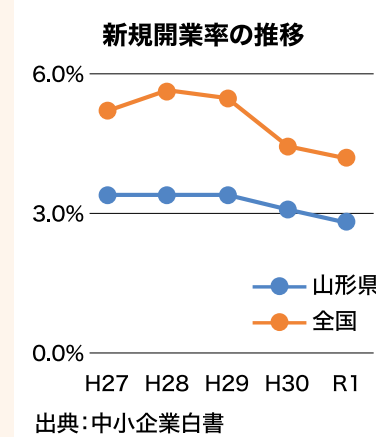


本県の中小企業の現状と課題

県内企業の大部分を占める中小企業・小規模事業者は、地域経済を支える、無くてはならない存在です。しかし、本県の中小企業・小規模事業者数は平成21年からの7年間で約16%も減少し、その傾向は今もなお続いています。経営者の年齢は全国平均よりも高く、高齢化や担い手不足による廃業の増加が見られます。

本県の中小企業数	
H21年	45,799 社
H28年	38,726 社
出典：中小企業白書	
経営者の平均年齢	
山形県	63.96 歳
全国	62.49 歳
東京商工リサーチ調べ 令和2年12月時点	

廃業する企業が増える中、地域経済を支える新たなビジネスの創出や創業が期待されていますが、本県の新規開業率を見ると、令和元年度で全国44位と低位で推移しています。



今、なぜ創業支援が必要なの？

昨今の産業界は、IoT※1、AI※2、ロボットなどの第4次産業革命と呼ばれる技術革新が進み、Society 5.0※3といわれる未来社会の実現に向けた取り組みも急速に進展しています。このような中で、既成概念にとらわれない新たなビジネスや働き方も生まれてきていますが、大企業と比べ経営資源に限りがある中小企業や小規模事業者では、環境の変化に柔軟に対応することが容易ではありません。

新たなビジネスや創業は、新たな仕事と雇用を生み出します。そのため、県では、県内企業や個人の夢や新たなチャレンジを、さまざまな面から支援しています。今回は、その取組みについてご紹介します。

用語解説

- ※1 Internet of Things (物のインターネット)の略。スマホや家電等の物が直接インターネットにつながり、離れたところから操作や状況把握ができる技術
- ※2 Artificial Intelligence (人工知能)の略。コンピューターが人間のように画像を認識したり計算したりする技術
- ※3 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな未来社会
- ※4 事務所や打合せスペースなどを個人や複数の会社で共有し、それぞれ独立した仕事を行う場所
- ※5 新しいビジネスモデルや市場を開拓し、短期間で急激な成長を狙う企業や事業のこと

山形県！世界を変えるビジネス

創業時の経費負担を軽減！

創業で大きな壁となるのが資金調達です。県では、創業時の経費負担を抑えるため、飲食業等の小規模な創業から、自らの技術を生かしてスタートアップ※5を目指す方など、それぞれの創業の形に合わせた補助制度を用意しています。

県では、スタートアップ企業の出・育成を図るため、ビジネスプランコンテストを開催しています。コンテストでは新しいビジネスプランを持つ参加者が、ワークショップでアイデアを磨き上げ、その後、公開審査会で発表します。広く事業をPRすることで、事業と創業者自身の認知度向上につながります。また、審査会には、投資家や金融機関等の専門家も参加するため、事業化に向けた助言が得られるとともに、資金調達や事業連携の出会いの場にもなっています。

創業を支援し活力ある山形に

県では、今後も、スタートアップステーション・ジョージ山形を拠点に、創業までの各段階に応じた支援を行うことで、将来にわたり本県経済の発展につなげていきます。



支援を受けた創業者の声

庄内魚河岸酒場 潮彩 (鶴岡市)
斎藤俊幸さん

事業経費の計算等、分からない所が出てくるたびに、何度も商工会議所から丁寧に教えてもらいました。助成金を活用し、お店と山形の食を発信するホームページを作成しスタートダッシュに成功、認知度向上につながりました。

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組
いきいきやまがた
放送のご案内

「人も地域も元気に！活力ある山形へ新ビジネスと創業支援」と題して県内民放4局で特別番組を放送します。

- さくらんぼテレビ (SAY)
●3月5日(土)午後4時～
- テレビユー山形 (TUY)
●3月13日(日)午後4時～
- 山形テレビ (YTS)
●3月19日(土)午後3時55分～
- 山形放送 (YBC)
●3月26日(土)午後2時30分～

放送時間は変更になる場合があります。

▶問い合わせ ◎ 中小企業・創業支援課 ☎023-630-2354